

平成28年度 上市高等学校アクションプラン 年度末評価		— 2 —
① 重点項目	生活指導	
② 重点課題	基本的な生活習慣の確立 規範意識、けじめ意識の育成	
③ 現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「遅刻をしない」「身なりを正す」「マナーに気をつけ、みんなで元気にあいさつ」を指導の重点として規律と秩序ある校風作りを進めている。</li> <li>・平成27年度の生徒1人あたりの遅刻平均回数は2.4回であり、ここ3年間は横ばいの傾向にある（生徒1人あたりの遅刻平均回数 H26年度 2.2回 H25年度 2.4回）。</li> <li>・携帯電話・スマートフォンの使用違反回数は、年間延べ数で H27年度 135人、H26年度 240人、H25年度 224人と減少してはいるものの、校内での使用についてルーズな状況にある。ネットパトロールからの不適切な書き込みについても減少しているが、まだまだ指導の徹底が必要である。</li> </ul>	
④ 達成目標	① 1人あたりの年間遅刻回数の減少	② 携帯電話・スマートフォンの使用ルール違反者の減少、みだしなみの向上
	前年比20%の減少	前年比20%の減少
⑤ 方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅刻の多い生徒に対し、担任、学年、指導部が連携して問題状況の把握と問題解決に努める。保護者面談や連絡を密にして家庭の協力を得る。</li> <li>・進路指導と絡めて、社会人としての在り方を考えることにより、生徒自身の自覚を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教職員の共通理解を図りながら、統一した指導を行う。</li> <li>・違反した生徒はその都度家庭に連絡し、学校の指導方針を理解してもらい協力を得る。また、違反累積回数により特別指導を実施する。</li> <li>・ネットトラブルに関する最新の情報を生徒、保護者に提供し、ネット使用に関する意識の向上を図る。</li> </ul>
⑥ 達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度の遅刻総数は12/6現在で746回、生徒1人あたりの平均回数は1.6回とほぼ横ばい状態である。2年生は大きく減少しているが、1学年の回数が多く全体としての減少には繋がらなかった。根本的な問題解決には至っていない。</li> <li>・平成28年度2学期末までの段階で、携帯電話・スマートフォンの使用違反人数は162件で昨年より増加している。反面、違反を見逃さないという姿勢からの数値とも言える。</li> </ul>	
⑦ 具体的な取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝、玄関前指導として、挨拶や服装指導などの声かけを行っている。遅刻に関しては、すべり込み遅刻をある程度防ぐことができている。</li> <li>・遅刻を繰り返す生徒には、担任や学年が中心となり指導にあたった。連絡もなく定刻に学校に登校していない生徒には、保護者に連絡をして、所在の確認を行っている。特に、学期に8回以上遅刻を繰り返す生徒に対しては、保護者を交えて、基本的な生活習慣の見直しを考えさせた。</li> <li>・交通安全教室、たばこ・薬物の害、性教育、着こなし教室、携帯・スマートフォン安全教室などの講話を通して、規範意識を高めるように指導した。特に携帯・スマートフォン安全教室については、本校の生徒の実態に即した講話を計画した。また、個々のネットトラブル（ネットパトロール）については、生徒と面談をして対応している。</li> </ul>	
⑧ 評 価	C	C
⑨ 学校評議員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員が普段からしっかり取り組んでおられるという印象を持っている。</li> <li>・評価としてBをつけてもよいのではないかと。</li> <li>・生徒と先生の関係作りを大切にしてほしい。</li> <li>・情操教育の一環として、生徒玄関に学校で栽培している草花のプランターを置いてはどうか。優しい心が育つのではないかと。</li> </ul>	
⑩ 次年度以降に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の社会生活を見据えて、基本的な生活習慣の確立やルール・マナーを守る姿勢、我慢と思いやりの心を育てる指導。</li> <li>・遅刻常習などの原因を解明し、保護者の理解と協力を得て根本的な問題解決を図る指導。</li> <li>・「いじめ」の原因ともなりうるネットトラブルに対しての指導、利用マナーの向上を図る指導。</li> </ul>	

(評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状のまま D：後退した)